

～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫CS便り

平成27年9月2日 (NO.63)



浦幌町教育委員会
浦幌町教育研究所

CS導入促進等協議会

過日、道議会の予算特別委員会において、CS推進策について質疑が行われ、CS推進員の活用やブロックごとに「CS導入促進等協議会」を開催する旨の答弁がありました。

(十勝は、10月16日に行われる予定です。)

また、道教育推進会議においてCS導入促進について協議されました。地域に住み続ける人の力を最大限に生かした学校づくりの有効なツールとしてCSを位置づけ、成功事例を拡充していくことなどについて提案がありました。

なお、CS導入の課題として、①学校の諸課題の解決に有効な制度との認識を高める必要性、②CSに対する不要感、③市町村教委の認識の低さなどが指摘されていました。

第2回浦幌町小中一貫CS推進協議会開催 9月2日(水)

研修報告「全国CS研究大会 in 上越」

7月31日、新潟県上越市での全国CS研究大会に参加した佐藤次長補佐と平岡校長から次のような報告がありました。

- ① CSを浸透させるには時間を要する。成果はすぐに表れないが地道に進めていく。
- ② 未来のCSを支える担い手を育てることが肝心である。CSの導入により、学校・地域・保護者がそれぞれ役割と責任を分担し推進することがまちづくりへと繋がる。
- ③ 小中一貫教育とCSの連動により、学習内容が豊かになり課題解決のパワーが高まる。
- ④ 先進校の実践は、現在浦幌が取り組もうとしている方向性に自信を与えてくれた。



議題1 教育課程の作成

白井研究所副所長から、小中9年間を見通した教育課程編成について提案がありました。

地域学習については、児童生徒に身に付けさせたい力を明確にし、抜け落ちのない小中一貫の単元構成。また、算数・数学科では、小中学校の系統性を重視した典型教材の作成、授業実践を通した小中合同研修の推進について了承されました。

議題2 各学園の取組交流

各学園のCS担当者、学習指導部、生徒指導部、うらスタ部等から1学期の活動報告及び2学期活動計画について報告がありました。CS掲示板の作成、CS便りやCSカレンダーの作成、パワーアップアクションプランの作成、チャレンジマラソンの実施など、学園の特徴を生かした意欲的な取組について交流しました。やる気に満ちた協議に感謝です。